

新水稻奨励品種「ミコトモチ」

(旧系統名「島系糯54号」)

「ミコトモチ」は、「ヤシロモチ」に比べて、栽培しやすく、玄米品質が優れ、餅の外観が良く食味評価も良好です。このため、中生の「ヤシロモチ」に代えて奨励品種に採用し、県内150haの普及を図る予定です。

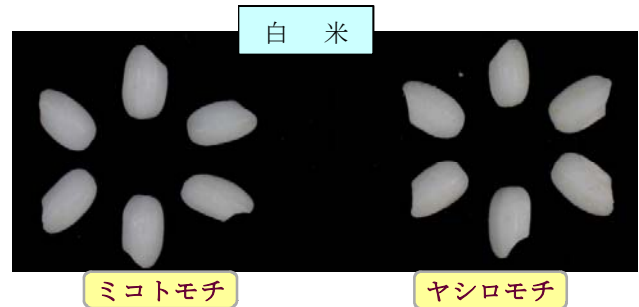
栽培適地は、平坦部～中山間部（中山間部とは標高300m以下。ただし、8月中～下旬の1日の平均気温が20℃を下回る地域では、作付けを避ける。）です。

1) 来歴

島根県農業試験場（現農業技術センター）において、1987年に「山陰糯83号」を母、「中部糯57号（ココノエモチ）」を父として人工交配を行い、その後の選抜を経て育成した系統です。

2) 「ヤシロモチ」と比較した主な特徴

- 出穂期は3日、成熟期は6日程度早い早生種。
- 稈長が短く、倒伏しにくい。
- 穂発芽性は'中'で、穂発芽しにくい。
- 収量性はほぼ同等で多収。
- 玄米千粒重はやや大きい。
- 玄米の外観品質はやや優れる。
- 白米の白度はやや白い。
- 餅の外観が良く、食味が良好。



ミコトモチ

ヤシロモチ

表1 「ミコトモチ」の特性

	ミコトモチ	ヤシロモチ
出穂期 (月. 日)	8.13	8.16
成熟期 (月. 日)	9.25	10.01
稈長 (cm)	87.9	92.6
穂長 (cm)	19.2	19.5
穂数 (本/m ²)	404	377
耐倒伏性	中	弱
穂発芽性	中	易
収量 (kg/10a)	543	544
玄米千粒重 (g)	26.6	24.8
玄米外観品質	6.0	7.0
検査等級	2等下	3等上
葉もち抵抗性	やや弱	やや弱
穂もち抵抗性	中	中
白葉枯病抵抗性	中	中
白米白度	53.3	49.9
食味	上	上

注1) 水稻奨励品種決定調査本調査の成績
1995～2001、2005～2007年の平均値

注2) 移植日は5月7～9日。

注3) 玄米外観品質は1（上上）～9（下下）の9段階
検査等級は1上～3下、規格外の10段階

(栽培研究部 作物グループ TEL 0853 22-6716)